

23rd Joint Concert

参加各校吹奏楽部顧問

本日はお忙しいなかご来場いただき、誠に有難うございます。まずは皆様方に本日の演奏会開催に至るまでの経緯をお話させていただきます。前回、第22回演奏会プログラムでは、この第23回演奏会は「2013年12月26日・市川市民会館」と告知しておりました。しかし、昨年暮れに山梨県で起きたトンネル崩落事故をきっかけに、同じ「吊り天井」構造を持つ施設の点検が行われ、その結果、会場予定のホールに構造上の問題が見つかり、4月より利用停止となってしまいました。「ジョイント」の開催自体が危ぶまれる出来事でしたが、参加各校の顧問同士で情報を交換しながら代替地を探したところ、幸運にも「12月27日・船橋市民文化ホール」が確保できたため、安心して演奏会準備を開始しました。結果として開催日・会場ともに変更となり、関係者やファンの皆様方に、ご迷惑やご心配をおかけしましたが、1990年に始まった「ジョイント」が、23回目にして初の船橋開催という貴重な機会を得て、関係者一同、心機一転、準備を進めて参りました。

この演奏会の特徴である「学年合同バンド」は、参加各校から同じ学年の部員たちが集まり、3ヶ月間合同バンドを組んで練習してきたものです。1年生は初めて顔を合わせる他校の部員たちと協力して曲を仕上げ、各校でリーダー的役割を担う2年生は、前年の1年バンドが再び集結して、より高度な技術・表現に挑むというスタイルが受け継がれています。各地区の行事日程や、各校の抱える事情も異なるため、合同バンドの練習日程の調整が難しいのが現状です。しかし、各校の吹奏楽部を指導する先生方の尽力と、練習に打ち込む部員たちの熱意に支えられて、20年を超える「ジョイント」の歴史は刻まれて来ました。そして2年後には「第25回」という節目を迎えます。記念企画をどうするか、今回の練習期間中にも話題になりました。

今回も研究熱心な各校顧問による選曲で、他では真似できないような、大変素晴らしいプログラムが実現しました。最後までお楽しみ頂ければ幸いです。また、今後より良い演奏会を実現するためアンケートにもご協力下さい。最後になりましたが、本日の演奏会にご協力頂きました参加各校の関係者の皆様方、船橋市民文化ホールの職員の皆様方に厚く御礼申し上げます。

ジョイントスタッフの顔ぶれ

吉田 直 先生（松戸六実 / 社会）

週2回は楽器練習することが目標。あと鯛料理のレパートリーを研究中です。第1回より(23回目)

沼田裕美子先生（薬園台 / 国語）

乗馬ライセンスを取得、昨年買った法螺貝を携えて出陣。年末はプラハで歌劇を観る。第17回より(5回目)

石井秀明 先生（白井 / 理科）

こだわりを持ってガラケー愛用。野田秀樹の演劇大好き。一応、気象予報士。第6回より(17回目)

中條 進 先生（国分 / 社会）

今年は少しまとめてオペラを見ました。オペラの面白さがわかって来たかも。第21回より(3回目)

豊田英文 先生（市川昂 / 音楽）

空手が大好きで、よく練習に行くらしい。おやじギャグも相変わらず絶好調。第7回より(17回目)

松田 輔 先生（船橋古和釜 / 音楽）

実はゲーム大好き、過去に腱鞘炎になったとの噂。「モンハン4」がお気に入り。第21回より(3回目)

平川忠一郎先生（市川昂 / 国語）

コントラバス奏者。大きな楽器の置場に頭を悩ませている。ミッキー大好き。第9回より(15回目)

吉田 僚 先生（松戸向陽 / 理科）

趣味はCDや本の購入。置き場所が悩み。今回は各校演奏の指揮を振ります。第21回より(2回目)

木村 亘 先生（松戸向陽 / 英語）

最近暇があればコンガを叩いているが、無駄口は叩かないようにしている。第13回より(9回目)

ここには紹介出来ませんでしたが、参加各校の関係者に支えられて準備を進めて来ました。